

# 石油のかわりに温泉があるじゃん。

石油に替わるクリーンエネルギーとして温泉の余熱・廃熱を使う、  
那須温泉の取り組み。



奥がヒートポンプ設備、手前がボイラー設備。  
ボイラー設備も補助設備として残している。



県内でも有数の温泉地、那須温泉は、温暖化防止に  
取り組む地域協議会を立ち上げ、町の資産である温泉か  
ら使われずに捨てられているエネルギーを有効活用しようと取り組  
んでいます。源泉からわき出した高温泉の余熱や使用後に捨てる  
廃熱を、シャワーなどに使う水道水を温める熱源に活用したり、暖房  
に使ったり、工夫しています。ホテルなどではシャワーの廃湯、温泉  
の放熱などを利用したヒートポンプを導入し、  
灯油や重油を中心としたボイラー  
設備は補助的な使用にとどめて  
います。



2つのホテルと一つの温泉供給事業会社が  
業務部門のモデル事業を実施。

取り組みのきっかけとなった、那須水害。那  
須温泉は壊滅的な打撃を受け、「地球温暖  
化による異常気象ではないか」と考えた。



## 講評

日本には地熱があり、温泉を楽しむ文化があり  
ます。その中で、温泉につかって健康を維持す  
るだけでなく、温泉エネルギーを使ってCO2  
の削減や温暖化対策につなげていったことは、  
人間の健康と同時に、地球の健康も大切にす  
る取り組みとして全国で広めていただきたい  
です。

## 受賞者 コメント

那須温泉地球温暖化対策地域協議会副会長 稲川 裕之  
全ての温泉施設で温泉の熱エネルギー利用を



受賞の栄に授かり、慶びで一杯です。日本は世界に冠  
たる温泉大国で、全国民がほぼ1年に1度は温泉地で1  
泊している計算です。全ての温泉施設で「温泉の余熱廃  
熱による石油代替エネルギープロジェクト」を実施すれ

ば、CO2排出量が減り、お客様へのアピールにもなり、二  
重の効果になると思います。どうか、今迄以上に温泉をご  
愛用いただき、温泉の持つ熱エネルギーを有効利用する  
事により、温暖化を防止するようご協力をお願いします。

団体名:那須温泉地球温暖化対策地域協議会  
所在地:栃木県那須郡那須町  
ウェブサイト:<http://www11.ocn.ne.jp/~shinnasu/>

都道府県大会の名称 **とちぎのエコキーパーをさがせ!**